

名鉄バス間内・岩倉線に対する補助の継続について

1. 概要

名鉄小牧線間内駅と名鉄犬山線岩倉駅を結ぶ名鉄バス間内・岩倉線は、市民の日常生活に必要な交通手段として確保・維持する必要がある生活交通路線として位置づけられていることから、国庫補助事業の対象路線となっております。

また、本市においても、平成 26 年度第 1 回地域公共交通会議において、国と同様に地域住民の生活に必要なバス路線であると承認された路線であることから、国庫補助金を充当しても賄えない赤字補填分を市が補助しております。

2. 現在の状況

間内・岩倉線の利用数推移表

(単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
平成26年度	-	-	-	-	2,307	2,039	2,110	2,072	2,404	2,231	1,951	2,352	17,466	2,183
平成27年度	2,588	2,246	2,365	2,580	2,271	2,414	2,530	2,554	2,745	2,678	2,307	2,625	29,903	2,492
平成28年度	2,813	2,553	2,740	2,641	2,676	2,556	2,661	2,511	-	-	-	-	21,151	2,644

現在の利用状況としましては、増加傾向ではあるものの目標値である 3,379 人/月には到達していない状況であります。

3. 本市の方針

この路線の補助の継続については、運行を開始する時期において、路線の認知や利用者定着の期間を考慮して、およそ 3 年を目処に検証することとしておりました。名鉄バス株式会社から、今年 5 月に実施した利用状況の調査結果から平成 30 年 9 月までは、生活交通路線として国庫補助事業の交付申請が可能となる見込みであると伺っていますので、本市としましては補助を継続して実施していきたいと考えております。

また、それ以降の補助の継続につきましても、毎年 5 月に名鉄バス株式会社が実施する利用状況調査の結果に基づき、翌年 10 月から翌々年の 9 月までの 1 年間に対する国庫補助事業の交付申請が可能であれば、本市も同様に補助を継続して実施していく予定であります。

4. 利用促進策

ホームページ及び沿線住民に対する回覧を実施して利用状況について周知・PR を図る予定であります。今後も、この路線が地域の足として確保、維持できるよう、運行事業者と協力しながら、地域住民の皆様にご利用いただけるよう様々な利用促進策を検討し、実施していきたいと考えております。